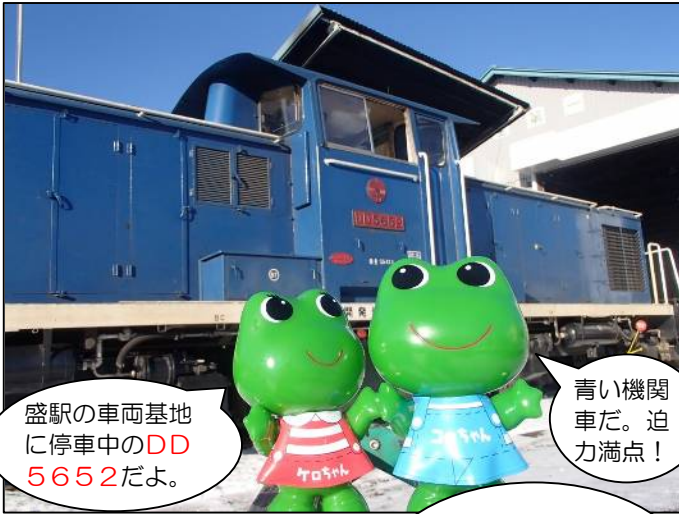


岩手開発鉄道は、一日 13 往復で約 8,000 トンの石灰石を運んでいるコロ。これまで運搬した石灰石の総量は、何と 1 億 5,000 万トンにもなるんだって！



みなさんの努力と連帯で、東日本大震災から見事に立ち直ったコロ！



盛駅の車両基地に停車中のDD5652だよ。

青い機関車だ。迫力満点！

(ケロちゃん) 大船渡は東日本大震災で甚大な被害を被ったケロ。岩手開発鉄道もたいへんだったケロ。

(コロちゃん) 震災当日は、たまたま運休日で、運良く4両の機関車の被災は免れたコロ…。でも、盛駅まで津波が押し寄せてきて、盛駅から赤崎駅までの約2kmは壊滅的な被害を被ったコロ。

(ケロちゃん) 盛土・法面・道床が流失したり、線路が曲がったり、土砂が崩落したり、踏切が壊れたりしたほか、赤崎駅も全壊しちゃったケロ。おまけに、貨車や工事用車両も水に浸かって絶望的だったケロ。

(コロちゃん) 復旧までの道のりは、長く、厳しかったコロ。でも、荷主の太平洋セメントや、国・県・市町村、地元のみなさんの協力の下、運転再開を目指して全社員が一丸になって立ち向かったコロ(^▽^)/。

(ケロちゃん) 必死の努力を続けた結果、震災から約8ヶ月後の11月7日に、運転再開の日を迎えることができたケロ。みなさんは、この日に行われた「災害復旧一番列車出発式」を、喜びの涙で迎えたケロ～！

(コロちゃん) 岩手開発鉄道の被災状況と、復旧までの努力の跡は、東北の鉄道震災復興誌編集委員会編/国土交通省東北運輸局監修の「よみがえれ！みちのくの鉄道」に詳しく紹介されているコロ。

(ケロちゃん) インターネットのWEB上でも公開されているから、みなさんも読んでほしいケロ！



岩手開発鉄道の安全綱領を唱和するよ！
一、安全の確保は、輸送の生命である。

二、規程の遵守は、安全の基礎である。
三、執務の厳正は、安全の要件である。
この心がけが、安全・安心を支えているケロ！

稀少となった貨物列車を“激写”する旅も楽しいケロ…遊びに来てね！

ケロちゃんのイチ押し～貨物列車の勇姿～

豊かな大自然の中を、縫うようにして走る貨物列車。とりわけ、18両の貨車を連ねて走る青い機関車の勇姿は印象的で美しいケロ。四季折々の風景とともに、黙々と走るその勇姿をアルバムに収めて欲しいケロ。



DD5653



雪化粧をした山間をDD5652が力強く走るコロ。



DD5601が、さわやかな風に吹かれながら橋梁を渡っているケロ。



撮影する時は、線路や閉鎖したホームなどには絶対に入らないでほしいケロ！



*「応援ニュース」では、ケロちゃんコロちゃんの応援活動の様子をお知らせします。

*バックナンバーは一般社団法人日本民営鉄道協会のホームページ「地方民鉄応援プロジェクト」でご覧いただけます。